



●ソロモン・R・グッゲンハイム美術館

マンハッタンの五番街にありながら緑豊かなセントラルパークに近い場所に建グッゲンハイム美術館は、近代建築の巨匠フランク・ロイド・ライトの最晩期の代表作（世界遺産リストに登録）である。

外観は柔らかな白色と巻貝のようなフォルムが相まってニューヨークの景観の中でも目を引く存在。

館内は中央の吹き抜けを囲む螺旋状のスロープが連続的に続く。また天窓から注ぐ光が白を基調とした内装に陰影を生み出し、形状を浮かび上がらせる。

来館者はまずエレベーターで最上階に上がり、そこからゆっくりとなだらかなスロープを下りながら展示作品を鑑賞する。連続した空間により歩くたびに視界が変化し心地良さと楽しさを感じられる建築である。

（幹事：鈴木章子 写真：2025年7月4日撮影）



●JIS Z8721 三属性による色の表示方法

この規格は色相・明度・彩度で色を表示するマンセル表色系を詳しく説明する教材として優れている。

色相の表示方法は、色知覚の属性のうち、色相を尺度化した10の色相記号を、明度及び彩度が一定の色相環の上で、色相知覚の差がほぼ一定になるように分割して数字と色相記号で表す。例えば2.5R、5R、7.5R、10Rの如く、色相記号は、R、YR、Y、GY、G、BG、B、PB、P、RPの色相環を形成している。

尺度化した明度Vの表示方法は、理想的な黒を0、理想的な白を10とし、その間を明度知覚の差が等歩度になるように分割して、数字によって表す。有彩色の明度の表示方法は、有彩色の三刺激値 Y_c が、これと等しい無彩色の明度の数字を用いて表す。

彩度の表示方法は、色知覚の属性のうち、彩度を尺度化した彩度Cは、彩度知覚の差がほぼ等歩度になるように分割して、無彩色を0として、彩度の度合いの増加に従って順次1、2、3、4のように数字によって示す。上記のように、色相、明度、彩度の三属性によって構成された色票集はアメリカや日本で発行されて普及しており、このJISに正確な色度が指定されている。（永田泰弘）

●大辞泉ひろいよみ 84 一こ

紅毛船：こうもんせん。江戸時代、オランダ船の俗称。スペイン・ポルトガルの南蛮船と区別している。のち、広く外国船のこと。

黄門：中納言の唐名。水戸光圀の通称。水戸黄門。

紺屋：こうや。こんやの音変化。染物を業とする者。また、その家。元、藍で布を紺色に染める者をさした。染色を行う家は、古くは紺屋・紅屋・茶屋のように、得意とする専門の染め色で独立していた。こんかき、こうかき。

紅葉：こうよう。秋になって、葉が紅色に変わる。また、その葉。葉緑素がなくなり、アントシアニンなどの色素が蓄積して起こる。黄葉を含めて言うこともある。もみじ。

黄葉：こうよう。秋になって、葉が黄色に変わる。また、その葉。葉緑素を失い、カロチノイドが目立つようになって黄変する。

黄落：木の葉や果実が黄色にいろ付いて落ちること。

紅蘭：こうらん。紅色の花が咲く蘭。

光量：一定の面を一定時間内に通過する光のエネルギーの総量。

黄梁：こうりょう。オオアワの別名。

*大辞泉：小学館発行国語辞典（永田泰弘）